

# ヨード内服治療を受けられる患者さんへ

患者氏名：

主治医：

受け持ち看護師：

項目	月日 入院日～治療前	治療1日目	治療2日目	治療3日目	治療4日目	退院日
達成目標	・息苦しさがない	・嘔気がない ・嘔吐がない ・息苦しさがない				
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	・チラーヂン中止する場合は、甲状腺機能低下症の症状が出現する可能性があります (疲れやすい、だるさ、徐脈、むくみ、声が枯れる、便秘、脱毛、活動意欲の低下、動作が鈍い、筋力の低下など)	【ヨード内服治療】 ・治療室に入室後にカプセルを2個内服します ・吐き気があるときには吐き気止めを使います ・内服後は薬の空を内服ボックスに入れておいてください	・吐き気などで内服できないときはお知らせください	・治療室から退室できるか、診療放射線技師が線量を測定します ・放射線の線量測定し、線量が基準以下であれば退室となります ・冷蔵庫内の物を確認し、すべてのゴミと身につけている衣類を前室のゴミ箱に入れシャワー浴を行います		・甲状腺ホルモンの内服を再開します  
検査	・採血、心電図、肺機能の検査があります	・採血があります 			・RI検査があります	
活動・安静度	・制限はありません	・ヨード内服後は治療室から外に出ることはできません ・16時までにその日出した分のゴミの片付けをしてください			・制限はありません	
食事	・2週間前からヨードの含んだ食事(海藻類、魚介類、乳製品等)を摂っていないかを確認します	・ナースコールで食事のメニューをお知らせします ・食べることが出来る物、量を配膳しますのでナースコールで教えてください				・普通の制限がないお食事を食べて頂いてかまいません
清潔	・制限はありません	・治療室内でシャワーに入ります ・15時頃までにはシャワーを済ませてください 	・シャワー後は室内に戻らず、看護師が来るまで前室で待機し、一緒に病棟に戻ります		・制限はありません	
排泄	・制限はありません	・治療室内のトイレを使用し、男女を問わず便座に座り水を流しながら用を足します。終わったら水を2回流します ・治療当日のみ、吐く時はビニールで覆ったガーグルベースンに吐いて、その後ナースコールでお知らせください。次の日からはトイレに直接吐いてください。その際もナースコールでお知らせください ・RI検査の前日の夜に下剤を内服していただきます				・検査室を出た後は制限はありません 
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	・医師から治療、副作用についての説明があります ・パンフレットを用いて、看護師から治療中の注意点など説明を行います ・パンフレットに沿って必要物品を揃えていただき、入室1日目・2日目・退室時・予備と小分けにしておいてください ・治療室での必要物品は、入室前日までに確認を行います 治療室に入室する際は、貴重品を床頭台の金庫に保管し、金庫の鍵を袋に入れて治療室に持って入ります *疑問点、不明な点があれば気軽にどうぞねください ・前日にヨード室のオリエンテーションがあります。時間は調節して看護師がお知らせします 	・治療中はお金(3000円まで)を預かり、治療中の買い物を代行します ・その他の貴重品は床頭台の金庫に保管し、金庫の鍵を袋に入れて治療室に持って入り、退室時に忘れずに持って帰ってください ・原則として面会はできませんが室内の電話での会話は可能です			・退院後の注意事項についてパンフレットを使用して看護師より説明があります  	・病棟クラーク(事務職員)が会計票、看護師が預っている内服薬を病室までお持ちします。病室でお待ちください ・退院後初回再診日まで、ご不明、ご不安なことがありましたら、下記連絡先に、お電話をください  宮崎大学医学部附属病院 放射線科外来 0985-85-9881 7階東病棟 0985-85-1898 総合予約室 0985-85-1225 ※時間外(17:00~8:00)は病棟に電話をおかけください

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。